

令和8年度支援プログラム

案 そら

令和 8 年 2 月 1 日

事業所理念	そらは様々な遊びを通じて、楽しくわくわくした充実した生活を支援します。Action(行動する)、Sociality(社会性)、Imagination(想像、創造)、Communication(伝える)の4つの力、視点から支援を行います。	営業時間	第1単位 10:00~17:30 第2単位 9:00~17:00
支援方針	①新しい環境での生活に慣れる。 ②できる活動を増やしていき、社会経験を少しずつ増やしていく。 ③活動を通して、興味・関心を増やしていく。	送迎実施の有無	有

※受け入れ施設の都合や感染症の流行等により、支援内容をやむを得ず変更する場合があります。

5領域		ねらい	支援内容	
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善	健康状態の把握	健康観察
		生活リズムや生活習慣の形成	健康の増進	手洗い、うがいの習慣 持ち物の管理
			リハビリテーションの実施	着替え、片付け、準備☆ 苦手な食べ物に挑戦
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上	基本的な生活スキルの獲得	活動に応じた家具等の配置の工夫 トイレトレーニング
			構造化等により生活環境を整える	
		姿勢と運動・動作の補助的手段の活用	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	体操、ストレッチ、ダンス 正しい姿勢で座る☆
	認知・行動	姿勢と運動・動作の補助的手段の活用	身体的移動能力の向上	散歩、ウォーキング
			保有する感覚の活用	平均台を使うバランス運動
		保有する感覚の総合的な活用	感覚の補助および代行手段の活用 感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)への対応	粘土、製作、ぬり絵等の指先遊び☆ 遊びの種類ごとに活動スペースを確保
	言語・コミュニケーション	認知の発達と行動の習得	感覚や認知の活用	特性に応じた机や椅子、物の使い方の理解
			知覚から行動への認知過程の発達	天気や活動予定の確認
		空間・時間、数等の概念形成の習得	認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 数量、大小、色等の習得	塗り絵で様々な色を選ぶ イベントポスター製作☆
	人間関係・社会性	対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	認知の偏りへの対応	様々な物や場所を知る
			行動障害への予防及び対応	外出体験、日常生活動作の積み重ね
		言語の形成と活用	言語の形成と活用	挨拶の定着☆
			受容言語と表出言語の支援	〇〇さんと名前と呼ぶ
	自己理解と行動の調整	人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得	ありがとう、ごめんなさい等のやりとり	
		指差し、身振り、サイン等の活用	ハンドサイン、ジェスチャーでの思いを伝える練習	
読み書き能力の向上のための支援		絵本の読み聞かせ		
仲間づくりと集団への参加	コミュニケーション手段の選択と活用	コミュニケーション機器の活用	感想を職員に伝える☆	
		アタッチメント(愛着行動)の形成	1対1での関わりやスキンシップ	
	模倣行動の支援	真似っこゲーム、ダンス		
仲間づくりと集団への参加	自己理解と行動の調整	感覚・運動遊びから象徴遊びへの支援	ごっこ遊び、見立て遊び	
		一人遊びから協同遊びへの支援	玩具共有、全員リレー、玉入れ等の集団活動	
	自己の理解とコントロールのための支援	列に並ぶ、順番を待つ☆		
集団への参加への支援	公共施設へ出かける☆			
家族支援	ご家族のニーズを受け、家族(きょうだい)の困りごとを相談する場を設けたり、関係機関に繋いだりする等の支援を行う。			
職員の質の向上に資する取組	事業所の提供する支援の質を確保するため、年間計画に基づく事業所内研修の実施や、外部研修への派遣を行い、職員の質の向上を図る。			
地域支援・地域連携、主な行事	別紙①参照	移行支援	別紙①参照	

※1 上記以外にも個別支援計画に沿った支援を適宜行っております。

※2 ☆印はイベントを想定した支援内容になります。